

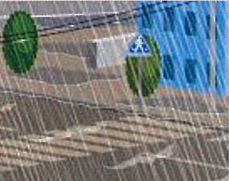
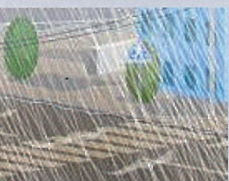


気象情報（大雨）と行動例

気象庁から発表される情報のタイミングと、そのときにとるべき行動の例をまとめました。

特に、「突発性が高く予測が困難な土砂災害の危険性がある区域（土砂災害警戒区域等）や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いの区域（洪水浸水想定区域等）にお住まいの方」は、いざという時に自発的に避難を開始できるよう、事前にご確認ください。

大雨・台風の場合

気象状況	気象情報	河川情報	市の対応
大雨の数日〜約1日前 レベル1 数日後までに警報級の現象発生の可能性が予想され、大雨の可能性が高くなる  雨が強さを増す  大雨となる  大雨が一層激しくなる  広い範囲で数十年に一度の大雨	警報級の可能性 天気予報の発表地域ごとに発表 大雨・洪水注意報 市町村単位で発表 大雨・洪水警報 市町村単位で発表 大雨特別警報 市町村単位で発表	河川洪水予報 氾濫注意情報 氾濫警戒情報 氾濫危険情報 氾濫発生情報	防災情報の収集 - 心構えを一段高める - 職員の連絡体制の確認 - 今後の気象状況に注意 防災情報の発信 防災行政無線  災害情報メール   情報メール いとしま 県防災メール まもるくん 情報連絡本部 24時間体制で職員を配置 災害対策本部設置 避難情報発令を判断できる体制 指定避難所を開設できる体制 避難準備・高齢者等避難開始 指定避難所開設 避難者の受け入れ 避難勧告 緊急速報メール  避難指示（緊急） 災害発生情報



マイ・タイムラインを作成しよう

マイ・タイムラインとは、水害に備え、一人ひとりが、どのタイミングで、どのような避難行動をとるかを時系列に整理したものです。各家庭の状況に応じ、避難のタイミングをあらかじめ定めておくことで、災害時の適切な行動につながります。災害時の連絡手段や近隣の避難場所・経路等について家族で話し合い、住民の行動（例）を参考にしながら作成しましょう。

住民の行動（例）	そのとき あなたはどうする？
気象情報やハザードマップを確認 - 心構えを一段高める - 危険な区域を把握 - 近隣の安全な場所や避難経路を確認  最新の情報をこまめに確認 Point 備えは大丈夫？  土砂災害警戒区域等や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いにお住まいの方は、避難準備が整い次第、避難を開始 高齢者等は速やかに避難 Point 土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、早め早めの行動を！  避難を開始 危険な区域の外の少しでも安全な場所への速やかな避難。 避難を完了 屋外への避難がすでに困難となっているおそれがあるため、この状況になる前に安全な場所への避難を完了しておく。 避難できない場合は近くの安全な建物や建物の2階以上の高いところ、山の斜面の反対側へ移動しましょう。	注意報が発表されたとき 警報が発表されたとき 避難準備・高齢者等避難開始が発令されたとき 避難勧告が発令されたとき